

平成29年度 英語力調査結果（中学3年生・高校3年生）の概要

1 調査の目的

- 中学3年生及び高校3年生を対象に、英語の4技能（「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」）がバランスよく育成されているかという観点から、経年比較を含め、生徒の英語力を測定し、調査結果を学校での指導や生徒の学習状況の改善・充実に活用。

〈参考〉

「第2期教育振興基本計画」（平成25～29年度）に、グローバル人材の育成に向けた取組として、民間の資格・検定試験団体と連携した生徒の英語力の把握・検証による戦略的な英語教育改善の取組支援を提言。また、成果指標として、中学3年生、高校3年生の英語力の目標を設定。

※「第2期教育振興基本計画」（平成25～29年度）における成果指標

①国際共通語としての英語力の向上

・学習指導要領に基づき達成される英語力の目標

（中学校卒業段階：英検3級程度以上、高等学校卒業段階：英検準2級程度～2級程度以上）を達成した中高校生の割合50%

2 調査の内容・対象

- 全国の中学3年生約6万人（国公立約600校）、高校3年生約6万人（国公立約300校）の英語力を調査。
 - ・学習指導要領に基づき、全員を対象に3技能（「聞くこと」「読むこと」「書くこと」）試験を実施。
 - ・「話すこと」は中学3年生約2万人、高校3年生約1万人を調査（1校あたり1クラスを対象）。
- 生徒の英語学習状況や英語担当教員の指導状況を把握・分析（質問紙調査）。
 - ・受験した生徒：英語学習に対する関心・意欲や授業内外における学習状況 など。
 - ・調査実施対象校の英語担当教員：授業における指導や評価の状況 など。
- 学校の取組事例を調査。
 - ・調査結果において特徴が見られた学校における取組内容の調査。
- 調査実施時期：平成29年6月末～7月中実施。

3 調査の特徴

- 国による全国無作為抽出で行う4技能型試験の調査
 - ・中学3年生は、平成27年度・平成28年度に続き3年連続実施。
 - ・高校3年生は、平成26年度・平成27年度に実施。
- 【参考】
 - ・平成30年 全国学力・学習状況調査（中3）で英語の予備調査（31年度より導入）
 - ・平成31年 高校生の学びの基礎診断
 - ・平成32年 大学入学共通テストで4技能評価
- CEFR（Common European Framework of Reference for Languages：ヨーロッパ言語共通参照枠）のA1（中学3年生）、A2（高校3年生）を中心に、レベルを測定できるように設計。

中学3年生の英語力の傾向

- 前年度同様、4技能のバランスに課題がある。
 - ・ CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）**A1上位レベル以上**の割合が「聞くこと（29.1%）」「読むこと（28.8%）」「話すこと（33.1%）」「書くこと（46.8%）」となった。
 - ・ 前年度に比べて「聞くこと」「読むこと」は増加し、「話すこと」は微増。一方、目標の50%には、4技能すべて達していない。
- 特に、「書くこと」はA1レベル上位以上の割合が46.8%と高いが、一方で、無得点者が11.0%と前年度より4.6ポイント減少したものの、一定数いる状況である。

<聞くこと> 32問（約18分）

聞くこと CEFR	平成28年度			平成29年度		
	得点	人数	割合	人数	割合	
A2	170	27,896	2.9%	29,520	3.1%	
A1 上位	160	10,217	21.9%	11,649	26.0%	
	150	15,507		18,167		
	140	22,757		26,266		
	130	33,699		41,454		
	120	51,863		61,767		
	110	79,316		89,054		
A1 下位	100	118,197	75.3%	120,380	70.9%	
	90	143,962		139,712		
	80	157,584		135,317		
	70	186,297		114,829		
	60	90,589		82,245		
	50	45,164		45,968		
	40	24,117		22,457		
	30	8,910		9,270		
	20	3,342		3,220		
	10	2,451		1,841		
0	3,243	2,285				
平均	93.8		96.3			
調査対象	975,109		955,399			

「聞くこと」
29.1%
(H28 24.8%)

<読むこと> 28問（約32分）

読むこと CEFR	平成28年度			平成29年度		
	得点	人数	割合	人数	割合	
A2	170	30,695	3.1%	31,506	3.3%	
A1 上位	160	9,511	22.2%	10,944	25.5%	
	150	12,940		13,402		
	140	15,704		20,223		
	130	25,592		26,775		
	120	34,276		39,903		
	110	48,116		54,446		
A1 下位	100	70,442	74.6%	78,262	71.2%	
	90	103,405		103,729		
	80	131,231		130,088		
	70	144,072		136,273		
	60	27,703		117,412		
	50	93,587		88,808		
	40	65,584		55,597		
	30	38,398		29,055		
	20	14,236		10,951		
	10	7,628		6,582		
0	1,991	1,446				
平均	83.4		86.2			
調査対象	975,109		955,399			

「読むこと」
28.8%
(H28 25.3%)

<話すこと> 3問（対面約10分）

話すこと CEFR	平成28年度			平成29年度		
	得点	人数	割合	人数	割合	
A1 上位	14	12,402	31.2%	5,248	33.1%	
	13	12,009		5,828		
	12	16,544		10,515		
	11	16,761		28,966		
	10	39,261		41,683		
A1 下位	9	26,510	68.8%	23,255	66.9%	
	8	28,916		24,340		
	7	31,462		26,363		
	6	34,432		27,463		
	5	28,813		0		
	4	0		24,642		
	3	28,105		19,561		
	2	12,930		0		
	1	11,762		21,471		
	0	11,167		19,672		
平均	6.7		5.8			
調査対象	311,073		279,009			
0点のみ	11,167	3.6%	19,672	7.1%		

「話すこと」
33.1%
(H28 31.2%)

<書くこと> 2問（約25分）

書くこと CEFR	平成28年度			平成29年度		
	得点	人数	割合	人数	割合	
A2	95	0	0.1%	0	0.0%	
	90	0		0		
	85	0		0		
	80	0		0		
	75	110		0		
	70	1,115		21		
A1 上位	65	4,108	50.7%	223	46.8%	
	60	28,972		2,075		
	55	45,208		57,417		
	50	90,202		71,717		
	45	88,413		100,668		
	40	26,993		100,145		
	35	112,148		116,360		
	30	93,467		95,466		
	25	44,480		98,889		
	20	31,539		63,919		
A1 下位	15	71,686	49.2%	35,038	53.2%	
	10	86,749		56,828		
	5	0		50,296		
	0	152,977		108,638		
	平均	31.3				30.8
調査対象	978,167		957,700			
0点のみ	152,977	15.6%	105,492	11.0%		

「書くこと」
46.8%
(H28 50.8%)

【質問紙調査とのクロス集計より】

現行の学習指導要領で示されている、「与えられたテーマについて簡単なスピーチ」や「まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る」などの「言語活動」を行っている学校の方が、生徒の「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の得点が高い。特に、「聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたり」するなどの統一的な言語活動を行っている学校の方が、「話すこと」「書くこと」の得点が高いだけでなく、「聞くこと」「読むこと」の得点も高い。

新学習指導要領（平成29年3月公示）では、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」の五つの領域について、互いの考えや気持ちなどを外国語で伝え合う対話的な言語活動をより一層充実することとしている。

高校3年生の英語力の傾向

- 一昨年度同様、4技能のバランスに課題がある。
 - ・ CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) **A2レベル以上**の割合が「聞くこと (33.6%)」「読むこと (33.5%)」「話すこと (12.9%)」「書くこと (19.7%)」となった。
 - ・ 一昨年度に比べて「聞くこと」は増加し、「話すこと」「書くこと」は横ばい。一方、目標の50%には、4技能すべて達していない。
- 特に、「話すこと」「書くこと」は全体的に低く、無得点者の割合もそれぞれ18.8%と15.1%と一定数いる状況で、一昨年度と同様の傾向となっている。

<聞くこと> 36問 (約23分)

CEFR	得点	平成27年度		平成29年度	
		人数	割合	人数	割合
B2	320	1,125	0.2%	2,211	0.3%
B1	310	504	2.3%	498	3.1%
	300	558		853	
	290	694		1,100	
	280	821		1,296	
	270	1,617		1,899	
	260	1,541		2,503	
	250	2,137		3,120	
	240	3,151		4,329	
	230	3,806		5,148	
	220	5,617		6,946	
A2	210	6,889	26.2%	9,097	30.2%
	200	9,603		11,356	
	190	12,645		15,112	
	180	16,250		20,461	
	170	20,540		24,116	
	160	25,671		30,971	
	150	33,149		39,240	
	140	41,555		45,075	
	130	53,192		52,551	
	120	65,582		59,185	
A1	110	76,456	71.4%	65,779	66.4%
	100	75,343		66,334	
	90	68,494		66,395	
	80	53,007		54,737	
	70	32,936		37,541	
	60	19,791		21,200	
	50	9,820		9,786	
	40	4,845		4,293	
	30	2,448		1,726	
	20	1,127		825	
10	1,101	963			
0	4,107	3,091			
平均	123.1		127.3		
調査対象	656,223		669,737		

「聞くこと」
33.6%
(H27 28.7%)

<読むこと> 43問 (約45分)

CEFR	得点	平成27年度		平成29年度	
		人数	割合	人数	割合
B2	320	281	0.1%	1,232	0.4%
B1	310	131		677	
	300	314		932	
	290	364		942	
	280	472		1,522	
	270	677		2,057	
	260	1,126		2,092	
	250	1,615		3,105	
	240	2,328		3,572	
	230	3,227		4,949	
	220	4,660	6,513		
A2	210	6,786	32.4%	8,390	29.4%
	200	9,241		10,448	
	190	12,588		13,637	
	180	18,051		17,714	
	170	23,782		23,422	
	160	33,528		30,308	
	150	45,807		40,999	
	140	62,986		51,875	
	130	84,998		67,892	
	120	105,191		86,098	
A1	110	101,560	65.3%	99,527	66.5%
	100	73,225		90,622	
	90	36,947		58,005	
	80	15,335		26,861	
	70	5,208		9,924	
	60	1,787		2,845	
	50	749		1,191	
	40	269		491	
	30	278		299	
	20	9		66	
10	0	52			
0	2,706	1,478			
平均	133.9		133.3		
調査対象	656,223		669,737		

「読むこと」
33.5%
(H27 34.7%)

<話すこと> 6問 (対面約10分)

CEFR	得点	平成27年度		平成29年度	
		人数	割合	人数	割合
B1	14	1,853	1.5%	1,357	1.2%
A2	13	2,015	11.3%	2,730	11.7%
	12	3,242		0	
	11	3,516		4,583	
	10	5,149		6,446	
A1	9	6,202	87.1%	7,532	87.2%
	8	7,429		8,374	
	7	8,316		8,933	
	6	9,266		0	
	5	11,902		9,772	
	4	7,602		10,289	
	3	11,619		9,004	
	2	0		9,559	
	1	26,324		17,086	
	0	18,267		22,209	
平均	4.7		5.7		
調査対象	122,703		117,873		
0点のみ	18,267	14.9%	22,209	18.8%	

「話すこと」
12.9%
(H27 12.8%)

<書くこと> 2問 (約27分)

CEFR	得点	平成27年度		平成29年度			
		人数	割合	人数	割合		
B2	140	0	0.0%	0	0.0%		
	135	8		0			
	130	0		0			
B1	125	18	0.7%	13	0.4%		
	120	165		26			
	115	412		171			
	110	1,621		302			
	105	2,684		1,949			
	100	6,225		3,821			
	95	6,684		6,724			
	90	12,613		5,721			
	85	14,530		26,505			
	80	19,370		21,656			
A2	75	32,069	18.8%	33,002	19.3%		
	70	32,421		31,975			
	65	40,917		35,060			
	60	33,345		26,496			
	55	36,873		44,698			
	50	32,330		28,693			
	45	21,515		26,414			
	40	28,122		34,692			
	35	19,150		31,299			
	30	22,625		25,703			
A1	25	24,120	80.4%	32,500	80.4%		
	20	29,161		36,405			
	15	36,840		21,592			
	10	98,404		95,329			
	5	0		0			
	0	105,925		101,342			
	平均	39.9				40.1	
	調査対象	658,145				672,089	
	0点のみ	105,925		16.1%		101,342	15.1%

「書くこと」
19.7%
(H27 19.5%)

【質問紙調査とのクロス集計より】

現行の学習指導要領で示されている、「聞いたり読んだりしたことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたり」するなどの**統合的な言語活動を行っている学校の方が、生徒の「話すこと」「書くこと」の得点が高いだけでなく、「聞くこと」「読むこと」の得点も高い。**

新学習指導要領 (平成30年3月公示) では、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」の五つの領域について**統合的な言語活動をより一層充実**するとともに、**発信力の育成のさらなる強化**が予定されている。